

令和7年1月23日

令和7年 第1回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和7年第1回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和7年1月23日（木曜日）午後2時00分～午後2時37分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・7会議室

3. 出席委員 1番 岡田博史（教育長）

2番 岩田圭子

3番 藤宮志津子

4番 鈴木一徳

5番 新庄涼子

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

教育部長	田口茂夫	教育部参事兼 教育指導課長	石田玲奈
教育総務課長 兼学校施設更 新等担当課長	加藤泰正	新校開設担当 課長	大野祐司
指導担当課長	俵宗次郎	青少年課長	越中洋
生涯学習課長	岩野秀夫	中央公民館長	伊藤智
中央図書館長	浴靖子		

6. 書 記

庶務係長	長瀬由美子	主 事	濱仲あかね
------	-------	-----	-------

○議事日程

第 1 会議録署名委員の指名

第 2 教育長諸務報告

第 3 第 1 号議案 令和 7 年度東大和市学校給食事業計画（案）及び令和 7 年度東大和市学校給食会計予算（案）の諮問について

◎開会の辞

○岡田教育長 皆さん、こんにちは。

ただいまから、令和7年第1回東大和市教育委員会定例会を開催します。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○岡田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、新庄委員にお願いします。

○新庄委員 はい。

◎日程第2 教育長諸務報告

○岡田教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

12月22日日曜日、第24回MOA美術館東大和児童作品展表彰式に出席しました。

12月23日月曜日、教育委員会定例会に出席しました。

12月27日金曜日、ぼくらのプラネタリウム中高生のプラネタリウム発表会を鑑賞しました。こちらの中高生のプラネタリウム発表会は、市内の中高生はおりませんでした。近隣の市の中学生と高校生の地学部や天文部に所属している生徒さんが、自分たちでプラネタリウムの番組を作って、郷土博物館のプラネタリウムで番組を発表したということで、大変すばらしい番組でした。

12月28日土曜日、SEIBUプリンセスラビッツアイスホッケーの試合を観戦しました。

年が明けまして、1月7日火曜日、校長会に出席しました。

同日、東大和市公立小中学校PTA連絡協議会主催コンサートを鑑賞しました。この小中学校PTA連絡協議会主催のコンサートですが、当日はオペラやアンサンブルの演奏会がありました。そのアンサンブルの演奏会では、通常の楽器以外にもフライパンやトイレで使うような吸引する道具を使って音を出すなど、小さい子供たちも多く参加、観覧していましたが、非常に音楽に興味を湧くような演奏会でした。PTA連絡協議会は来年度解散するということなので、主催のコンサートが今後はなくなってしまうのか分かりませんが、このようなものが開催できるということはとてもよかったですと思いましたので、今後もしできれば続くとよいと感じ

じました。

1月8日水曜日、教育委員懇談会に出席しています。

1月10日金曜日、東大和市商工会令和7年新春賀詞交歓会及び特別講演会に出席しました。特別講演会におきましては、森永乳業の工場長のお話を伺うことができました。東大和市に工場ができてからの歴史等も学ばせていただきました。

1月12日日曜日、令和7年東大和市消防出初式に出席しました。多少寒かったのですが天候に恵まれた中で放水訓練等を行いました。市民の方も大勢参加されておられました。

1月13日月曜日、令和7年東大和市二十歳の成人式に出席しました。対象者は870名で、7割ぐらいの成人の皆さんが参加をされたのではないかと考えていますが、会場はいつもより多く埋まっていたように感じました。誓いの言葉も大変立派に述べられていまして、今後の活躍を期待したいと思いました。

1月15日水曜日、東大和青年会議所2025年度新年賀詞交歓会に出席しました。

1月18日土曜日、第43回東大和市立小・中学校連合書き初め展を鑑賞しました。毎年行われる書き初め展ですが、今年も非常に立派な作品がたくさん出品されていて、都立東大和高校、都立東大和南高校、また、喜多方市の小・中学校の生徒・児童の作品もありました。大勢の保護者の皆様や子供たちも観覧していただき、とてもよい書き初め展であったと思っています。

1月20日月曜日、青梅信用金庫新春講演会に出席しました。こちらは、経済アナリストの森永康平氏の講演を伺うことができました。今後の日本経済の展望や現状も含めてお話をいただきまして、教育には少し関係ないところかもしれませんが、今後の日本の経済の動向というものを学ぶことができました。

以上です。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、御質疑等ありましたら、御発言をお願いします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第1号議案 令和7年度東大和市学校給食事業計画
(案) 及び令和7年度東大和市学校給食

会計予算（案）の諮問について

○岡田教育長 日程第3、第1号議案 令和7年度東大和市学校給食事業計画（案）及び令和7年度東大和市学校給食会計予算（案）の諮問について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いします。

田口教育部長。

○田口教育部長 ただいま議題となりました第1号議案 令和7年度東大和市学校給食事業計画（案）及び令和7年度東大和市学校給食会計予算（案）の諮問につきまして、提案理由並びに内容の御説明を申し上げます。

本件は、令和7年度東大和市学校給食事業計画及び令和7年度東大和市学校給食会計予算の策定にあたりまして、東大和市学校給食センター設置条例第7条の2第1項に基づき、東大和市学校給食センター運営委員会に諮問するものであります。

詳細につきましては、教育総務課長から御説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 加藤教育総務課長。

○加藤教育総務課長 それでは、私から内容の御説明を申し上げます。

諮問書を1枚おめくりいただきまして、令和7年度東大和市学校給食事業計画（案）を御覧ください。

こちらは、令和7年度の学校給食事業の実施内容を記載しているものです。事業計画（案）の1ページ目をお開きください。

初めに、第1、学校給食の目的であります。こちらは学校給食法の引用ですが、学校給食の役割や実施すべきことなどを記載しています。

次に、第2、学校給食事業の主旨であります。学校給食事業で実施する主なものについて、1、食育の推進、2、地場農産物活用の促進、3、試食会の充実、4、残菜率の抑制、以上4点を新たに追記させていただきました。これら4点につきましては、今までも実施していましたが、事業計画に位置づけることで学校給食事業の一層の充実を図るものです。

次に、第3、学校給食センターの稼働日であります。令和7年度は年間199日です。こちらは4ページをお開きいただきまして、別表1に稼働日を記載していますが、土・日・祝日のカレンダーの状況によりまして、令和6年度と比較し

て1日増加となっています。

それでは、お手数ですが2ページにお戻りください。

次に、第4、年間給食日数であります。こちらは、東大和市学校給食センター給食費に関する規則で定める学校給食費の算定基準となる日数で、今回、変更はありません。

次に、第5、栄養摂取基準及び食品構成であります。学校給食センターでは、国で定める学校給食摂取基準及び学校給食の標準食品構成表を参考として、栄養士が献立を作成しています。詳細はお手数ですが5ページをお開きいただきまして、別表2、それから別表3にそれぞれ記載をしています。これらは児童・生徒1人当たりの給食1食当たりの数値として記載していますが、こちらも令和6年度からの変更はありません。

お手数ですが2ページにお戻りください。

次に、第6、学校給食で使用する食材料であります。市教育委員会が定める食材料の選定などの基準を記載しています。

1枚おめくりいただきまして3ページをお開きください。

次に、第7、給食費であります。令和7年度においても、児童・生徒に係る学校給食費の無償化を実施する予定であることから、保護者の負担は発生しない旨を記載しています。なお、表に記載の額につきましては、令和7年1月1日から給食費を改定したことに伴いまして、改定後の金額を記載しています。

令和7年度東大和市学校給食事業計画（案）についての説明は以上です。

続きまして、令和7年度東大和市学校給食会計予算書（案）を御覧ください。

こちらは、先ほどの事業計画や令和7年度の児童・生徒数の見込みなどを基に作成した学校給食会計の予算案です。市の公会計とは別にお金を管理する学校給食事業のいわゆる私会計として実施しています。

1ページをお開きください。

収入支出予算の総括表です。収入、支出の科目ごとの予算額は、前年度当初予算と比較して記載のとおりとなり、令和7年度の収入、支出のそれぞれの総額は4億4,516万2,000円で、前年度に比べ6,531万9,000円の増額です。

増減額の主な理由につきましては、まず、収入では、令和7年1月から学校給食費の無償化を実施したことから、児童・生徒分の給食費が科目1の給食費で減額となりまして、科目4の市助成金が増額となるものです。また、収入、支出そ

それぞれの合計では、令和6年度と比較して増額した分は給食費の改定によるものです。それぞれの科目の詳細につきまして次ページ以降で御説明します。

2ページをお開きください。

収入支出予算事項別明細書となっています。上段の収入の欄を御覧ください。収入科目の1、給食費は令和7年度予算額8,554万8,000円で、前年度に比べ2億3,652万9,000円の減となっています。

また、収入科目の4、市助成金は令和7年度の予算額3億5,913万8,000円で、前年度に比べ3億177万3,000円の増となっています。それぞれの増減の理由につきましては、先ほど申し上げましたとおり、学校給食費の無償化及び給食費の改定によるものです。

収入科目の2、繰越金は1,000円で、現段階では令和7年度への繰越金は確定していないため、予算では1,000円を今後の収入に備え科目存置としています。

収入科目の3、諸収入は13万7,000円で、前年度に比べ2万円の増となっています。こちらは、試食会の給食の1食当たりの単価が給食費の改定に伴い増額となっているものです。

最後に、収入科目の5、雑収入は33万8,000円で、前年度と比べ5万5,000円の増額となっています。こちらは、廃油及びダンボールの売払いの単価の上昇によるものです。

収入につきましては以上です。

次に、下段の支出につきましては、給食の食材料費のみとなっておりまして、令和7年度の予算額は4億4,516万2,000円で、前年度に比べ6,531万9,000円の増額です。主な理由としましては、繰返しになりますが、令和7年1月から学校給食費の単価を値上げしたことによる増額です。

3ページ以降につきましては、収入と支出の詳細な内訳を記載したものです。後ほど御確認をいただければと思います。

なお、ただいま御説明の内容につきまして、令和7年2月17日に開催予定の東大和市学校給食センター運営委員会において、御意見等をまとめていただいた後に、教育委員会に答申を頂く予定となっています。

説明は以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

御質疑があれば、御発言をお願いします。

藤宮委員。

○藤宮委員 食材費の値上げは響いていると思うのですけれども、燃料費についてはどのくらいの影響を受けていますか。

○岡田教育長 加藤教育総務課長。

○加藤教育総務課長 燃料費につきましては、私会計で管理していないため、予算書（案）に掲載はありません。給食会計としましては、今後は公費負担になりますが、あくまでも保護者が負担していた給食の食材料費に関するものとしているため、燃料費は掲載されておられません。

燃料費としては一定程度値上がりしてしまっていて、市の財政状況の中で予算増となっている状況です。細かな数値をお答えできなくて大変申し訳ありませんが、燃料費についても食材料費と同様に物価高騰の影響を受けているという状況です。

以上です。

○岡田教育長 ほかにいかがでしょうか。

新庄委員。

○新庄委員 1月に入ってから、子供から給食の品数や量が増えたような気がするということを聞きまして、そのような事実もおありなのでしょうか。

○岡田教育長 加藤教育総務課長。

○加藤教育総務課長 給食費改定により品数が増えるということは、以前もお話したかもしれないのですが、1皿献立が増えることはありませんけれども、給食にこれまではなかった果物やゼリーがつくことはありますので、全体としては1品増えることはあります。

また、量が目立って増えているということはないとは思いますが、質の部分と申しますか、食材を選定する中で、お肉1つにしてもいくつか品物を取り寄せてどれを選ぶかということを毎回行っていて、これまでは3つぐらいの品物からどうしても最低価格のものを選ばざるを得なかった状況でしたが、今は3つから5つ取り寄せて価格帯としては真ん中以上のものを選べるようになっているという状況です。

以上です。

○岡田教育長 ほかにいかがですか。

私から、学校給食事業計画の1ページに試食会の充実というのがあります。これまでも試食会は行っていましたが、さらに充実していくというところで、今後

考えていることや今実施しようとしていることなどがあれば、教えていただければと思います。

加藤教育総務課長。

○加藤教育総務課長 試食会の充実につきましては、これまでも、市民団体の方やPTAの皆様が給食を試食したいといった場合に、団体受付のような形で給食センターで試食会を行っていたという状況はありました。実はこの周知が私どもは足りていないと思っていまして、今後、より多くの方に食べていただけるように、まず周知をしていくということです。

また、先日の1月15日号の市報でも御案内をさせていただいたのですが、実は、初めて一般公募という形で、広く市民の皆様へ向けて、給食試食会を2月25日に実施するという御案内をさせていただきました。

初めての取組でどうなるかと思ったのですが、1月15日に募集をかけ、数日で定員の30名に達しまして、市民の皆様に関心の高さを感じているところです。このような機会を何回設けられるかまだ分かりませんが、まずは1回実施して、またその中でアンケートに寄せられる意見も参考にさせていただきながら、令和7年度、より広く、より多くの方に給食を知っていただき、直接食べていただく機会を設けていきたいと考えています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。今このような給食費の無償化が1月から始まり、市民の方も学校給食に対して、これまで以上に興味といたしまししょうか、関心も高くなっているのかと思います。さらに、試食会で給食を召し上がっていただくことで、学校給食についての理解もより進むのかと思います。

また、学校給食センターの栄養士さんは、子供たちにこのような栄養価を与えよう、このように食べてもらいたい、給食を食べるマナーも学んでほしい、そのような願いなどもあるかと思しますので、その栄養士さんの様々な考えや思いを、保護者や地域の方に聞いていただいたり、お考えを理解していただいたりすることも必要かと思えます。残菜率の抑制の項目でも記載されていますが、学校と連携して何かその辺りを進めていくというようなことはありますか。

加藤教育総務課長。

○加藤教育総務課長 広く給食を知っていただく機会としては、先ほどの説明の中で2月25日に初めての一般公募で実施する給食試食会についてお話ししましたが、

そこでは食べていただくだけではなくて、給食がどう作られているか大きな釜で混ぜる体験をしていただいたり、給食費が今どのような状況になっているかということをお伝えしたり、そのような時間を設けた上で食べていただくことになっています。また、学校現場においても、保護者会などの様々な機会を捉えて、給食センターから学校に栄養士が出向きまして、市民の方に食育あるいは学校給食の現状というのを伝えていく機会をより充実させていきたいと思っています。

近いところでは、明後日の土曜日に、第六小学校の学校公開に合わせて、栄養士が保護者の皆様宛てに食育の講演を行わせていただく予定です。何ができるかまだ手探りの状況ではあるのですが、学校の先生方の意見も聞きながら、可能な限り給食センターの職員が外へ出向く機会を増やして充実させていきたいと考えています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。学校給食について保護者の方や地域の方によく知っていただく機会をたくさん設けているということがよく分かりました。

ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了します。

お諮りします。

第1号議案 令和7年度東大和市学校給食事業計画(案)及び令和7年度東大和市学校給食会計予算(案)の諮問について、本件を承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 御異議なしと認め、さよう決めます。

◎閉会の辞

○岡田教育長 以上をもちまして本日予定していました議事日程は全て終了となります。

これをもって、令和7年度第1回東大和市教育委員会定例会を閉会します。

お疲れさまでした。

午後 2時37分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長

会 議 録 署 名 委 員